

色絵 花鳥文 皿
ドイツ・マイセン
18世紀前半
口径42.7cm

色絵 花鳥人物文 蓋付六角壺
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代(17世紀後半)
通高31.4cm

濁手 草花文 蓋物
13代酒井田柿右衛門
通高30.1cm

「柿右衛門」の

五色

ごしき 古伊万里からマイセン、
近現代まで

Colors of "Kakiemon" works especially Koimari,
Meissen and Sakaida Kakiemon XIII·XIV·XV

色絵 人物群像
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代(17世紀後半)
高14.2cm

会期 2023年4月8日(土) - 6月25日(日)

10:00 - 17:00 (入館受付は16:30まで)

※毎週金曜・土曜は10:00 - 20:00 (入館受付は19:30まで)

月曜・火曜休館

入館料 一般1,200円 / 高大生500円 ※中学生以下は入館料無料。

注意 ●ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。●マスク着用やご入館時の検温、手指消毒にご協力をお願いいたします。●会期や開館時間等は予告なく変更となる場合がございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。



TOGURI MUSEUM OF ART

戸栗美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-11-3 TEL 03-3465-0070
<http://www.toguri-museum.or.jp/>

当館ホームページ



@toguri_museum



@toguri_museum



「柿右衛門」の五色 2023年4月8日(土) - 6月25日(日)

—古伊万里からマイセン、近現代まで—

にこそで
濁手と呼ばれる純白の素地に、赤・青・緑・黄・金の五色の彩色を基本として
優美な絵付けを施した「柿右衛門様式」は、1670年代の佐賀・有田で完成
されました。1660年代以降に本格化する西欧への伊万里焼の輸出を背景
に、それまでの濃密な文様構成や濃厚な色合いから、濁手素地を活かした余
白の多い構図と、明るく爽やかな色調へと変化したものです。輸出先である西
欧では大変な人気を博し、ドイツのマイセンをはじめとして写しが製作され、素
地の白さと清らかな呈色が独自に追求されました。その後、西欧をめぐる中国と
の市場競争を理由とした様式変化によって途絶えてしまった柿右衛門様式
は、戦後になって12代・13代酒井田柿右衛門父子による「濁手」の復興とと
もに復活を遂げ、現代にまで受け継がれています。

今展では、世界を魅了した柿右衛門様式の素地や絵具の「色」に着目し、
色絵作品約80点を展示いたします。江戸時代の伊万里焼とマイセン、そして、
近現代の「柿右衛門」作品をご堪能ください。



色絵 花鳥文 輪花皿
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代(17世紀後半)
口径22.0cm



色絵 竹虎牡丹文 皿
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代(17世紀後半)
口径25.0cm



濁手 牡丹文 蓋物
14代酒井田柿右衛門
通高32.0cm



濁手 桜文 壺
15代酒井田柿右衛門
2017年
通高57.2cm

展示解説

無料 入館券をお求めの上、
ご自由にご参加ください

『「柿右衛門」の五色

—古伊万里からマイセン、近現代まで—の見どころ

2階展示室にて、主な出展作品の見どころをご紹介します。
入館券をお求めの上、ご自由にご参加ください

4月15日(土)・6月10日(土) 各日14:00～(約45分) 予約不要

特別講演会

無料 入館券をお求めの上、
ご自由にご参加ください

15代酒井田柿右衛門氏による 「柿右衛門の世界」

15代酒井田柿右衛門氏にご登壇いただき、出展中の自作品等の
解説や、作陶における絵具へのこだわり等についてお話しいただきます。

5月28日(日) 14:00～(約45分) 予約不要

ラウンジ&ギャラリー・トーク 「彩色にみる古伊万里・マイセン・ 近現代の『柿右衛門』」

前半は1階ラウンジにて古伊万里・マイセン・近現代の「柿右衛門」作品の
彩色の特徴を概説し、後半は2階展示室にて展示解説を行います。
5月15日(月) 14:00～(約120分) 要事前予約/先着30名様
※終了後は午後5時まで展覧会をご鑑賞いただけます。
参加費 一般1,500円(税込/入館券を別途お求めください)/年間パスポート会員1,200円(税込)

予約サイトにてお申し込みください
<https://airrsv.net/toguri-reserve/calendar/>



【受付開始】
4月8日(土)
10:00～

アート&イート 戸栗美術館 シェ松尾・松濤レストラン

戸栗美術館にて所蔵品をご鑑賞いただいた後、シェ松尾・松濤レストランにて
佐賀県産の食材を使ったフレンチをご堪能いただけます。

※ワンドリンク付(シャンパン又はノンアルコールスパークリング)

5月3日(水・祝)・5月4日(木・祝)・5月5日(金・祝)

各日3回実施(内容は同一です) 10:30/11:00/11:30開始

参加費 20,000円(税込) 要事前予約/各日各回先着5名様

※詳細は当館HPをご覧ください。

予約サイトにてお申し込みください
<https://airrsv.net/toguri-event/calendar/>



【受付開始】
2月16日(木)
10:00～

同時開催

第3展示室 江戸時代の伊万里焼

—誕生からの変遷—

江戸時代初頭に誕生した伊万里焼は、技術の発展や時代の変化に合わせて様式も移り変わっていきます。年代毎の様式の変遷を追いながら江戸時代の伊万里焼を通観いたします。

1階やきもの展示室 柿右衛門窯のうつわ展

柿右衛門窯では、江戸時代から約370年続く伝統を守り、次世代に残していくために製作を続けています。今回の展示では、当主である15代酒井田柿右衛門の濁手作品1点のほか、伝統文様を施した鍔手や染錦手の皿、鉢など柿右衛門窯製のうつわを中心に、約30点を展示いたします。

次回展

古伊万里の「あを」—染付・瑠璃・青磁—

2023年7月7日(金) — 9月24日(日)

古伊万里の「あを」(青・緑・藍)に注目し、染付や上絵の青・緑・瑠璃釉、青磁釉の作品を展示いたします。



交通: 渋谷駅八公口より徒歩15分/地下鉄A2出口より徒歩12分
京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩10分
※当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。